

<資料5>

令和2年度 藤枝市行政サービス評価委員会

地方創生事業(推進交付金)事業評価シート

藤枝市

令和元年度地方創生交付金事業評価シート

事業No.

1

事業名	ICT活用エキスパート養成事業				作成責任者	
事業開始年月	平成31年4月	事業終了年月	令和2年3月	担当課	ICT推進室	
交付金名	地方創生推進交付金 (ICTで人の流れを呼び込む教育・産業づくり推進プロジェクト)			事業費	事業費(円)	2,000,000
					うち交付金充当額(円)	1,000,000

総合戦略基本方針	ひとの流れを創る健康都市	政策パッケージ	移住・定住の促進	総合戦略施策名	充実した教育環境による移住・定住の促進
----------	--------------	---------	----------	---------	---------------------

事業目的	「即戦力となる人材」＝「企業に求められる人材」と考え、地元企業やクラウドソーシングで働くことができるICT人材の育成を目指す。 Excel・Wordの応用編などの仕事に直結するスキル、未経験者へのスキルアップ、リテラシー向上を目指す「知識・学習」主体の教育・研修の提供を行うと同時にフリーランスとして活躍するためのスキルアップに対する意欲の向上とスキル取得をサポートするWebサイトの構築を行う。
------	---

事業概要	小・中学生を対象としたプログラミング教育に続く、切れ目のないICT人材育成の一環として、高校・大学・社会人を対象とした実践的なICT教育の実施。地元企業やクラウドソーシングにおいて即戦力として活躍できるICT人材を育成するため、Excel・Wordの応用編など仕事に直結するカリキュラムを提供するとともに、スキル取得をサポートするWeb学習サイト「まなシェア」を構築する藤枝ICTコンソーシアムの活動を支援。
------	--

事業経費内訳	補助金: 2,000,000円 (交付先: 藤枝ICTコンソーシアム 補助率: 10/10)
--------	---



人材育成講座チラシ

	項目	評価
--	----	----

事業の有効性	全体の成果目標(KPI)の達成に資するために有効な事業であったか。	2: KPIの達成に有効であった
事業の効率性	事業実施にあたり、効率的かつ低コストで実施できているか。	4: 効率的でなく、低コストでなかった
事業の総合効果	本事業は、本市が目指す地方創生(しごととひとを継続的に呼び込む)に有効であったか。	3: 地方創生に効果があった

事業の評価	人材育成講座(9種類、全23回)を開催し、延べ271名が受講した。今年度より、社会背景に合わせたScratchプログラミング講座やコミュニケーション講座といった新しいカリキュラムを導入した。Excel講座については未経験者から経験者まで幅広く受講できるよう、レベル別のカリキュラムを設定し受講者からは好評だった。 また、コンソーシアム会員企業の要望により、企業内研修として講座を実施した。事業内容は社会情勢及び会員企業の要望にも対応しており、即戦力となる人材の育成に資するものであると考える。	事業の改善点	一般的なICTスキル教育 (ICTの基本技術の習得) の向上を図るため、会員企業の要望にも対応した人材育成事業を実施したが、9割が中小企業である地域の産業界においては、そのようなスキルに加え、WEBマーケティング等、即戦力となる情報ビジネススキルニーズとのギャップがあることがわかった。 採用する側とされる側のギャップを埋め、人材の地域への定着を促進するため、高校生を加えた学生等と企業との交流を促進しマッチング等を行う。
-------	---	--------	--

実績値を踏まえた今後の事業展開	今後の方針	事業を更に拡充させる	今後の方針理由	「大学を中心に、人と産業を育てつなぐ」若者定着推進計画のメニューとして、地元企業のニーズに対応した事業を展開する。
-----------------	-------	------------	---------	---

令和元年度地方創生交付金事業評価シート

事業No.

2

事業名	交流型ITキャンプ事業					作成責任者		
事業開始年月	平成31年4月	事業終了年月	令和2年3月	担当課	ICT推進室		齋藤 栄一郎	
交付金名	地方創生推進交付金 (ICTで人の流れを呼び込む教育・産業づくり推進プロジェクト)			事業費	事業費(円)	3,993,000	うち交付金充当額(円)	1,996,500
総合戦略基本方針	ひとの流れを創る健康都市	政策パッケージ	移住・定住の促進		総合戦略施策名	充実した教育環境による移住・定住の促進		
事業目的	短期集中型のIT学習によって論理的思考力や創造性、問題解決力を養うとともに、異属性(年齢や居住地等)の人の参加を求め、体験型ワークショップと交流型プログラムを通して学生が交流しながら学習することにより、コミュニケーション能力の向上を図るとともに本市への愛着心向上を図る。					 		
事業概要	中山間地域をフィールドに、藤枝市及び島田市の在住・在学の中学生を対象とするIT学習を中核とした複数日にわたる交流型キャンプを実施。					 <p>↑プログラミング学習</p> <p>↑ドローンを使った学習</p> <p>←BBQ・交流会</p>		
事業経費内訳	委託料 3,993,000円 (委託先:(株)共立アイコム)							
	項 目					評価		
事業の有効性	全体の成果目標(KPI)の達成に資するために有効な事業であったか。					2:KPIの達成に有効であった		
事業の効率性	事業実施にあたり、効率的かつ低コストで実施できているか。					2:効率的であったが、低コストでなかった		
事業の総合効果	本事業は、本市が目指す地方創生(しごととひとを継続的に呼び込む)に有効であったか。					3:地方創生に効果があった		
事業の評価	11月23・24日、30日・12月1日の2回開催した。参加者は定員50名に対し計26名と、定員を大きく割り込んだ。事業実施後のアンケートでは、7割以上の参加者が「また参加したい」と回答するなど、カリキュラムは概ね好評であった。また、「近くにロボットプログラミングを教えている教室があったら通ってみたいですか?」の質問に対し、半数以上が「通いたい」と回答するなど、参加者のプログラミングへの関心を引き出すことに成功したといえる。			事業の改善点		座学中心の講義であり、集中力を切らせてしまう参加者が散見した。これを踏まえ、学習の意義・目的を明確に示した参加型のカリキュラムが求められる。また両市内の中学校に対し募集をかけたが、定員を大きく割り込んだ。次年度は参加者募集にあたり、より効果的な広報が求められる。		
実績値を踏まえた今後の事業展開	今後の方針	事業の継続			今後の方針理由	プログラミングをはじめとするICT教育に加え地域の愛着を醸成する目的で開催する。		

令和元年度地方創生交付金事業評価シート

事業No.

3

事業名	藤枝クラウドソーシング運営事業				作成責任者			
事業開始年月	平成31年4月	事業終了年月	令和2年3月	担当課	ICT推進室		齋藤 栄一郎	
交付金名	地方創生推進交付金 (ICTで人の流れを呼び込む教育・産業づくり推進プロジェクト)			事業費	事業費(円)	38,500,000	うち交付金充当額(円)	19,250,000
総合戦略基本方針	産業としごとを創る健康都市	政策パッケージ	地域産業の振興と人材育成、雇用の創出		総合戦略施策名	地元企業の振興(ローカルイノベーション)		
事業目的	市民を対象に、時間や場所を選ばない新しい働き方を推進し、個人所得の向上、子育てしやすい環境づくりを進める。会員、地元企業が藤枝くらシェアを利用することで、市外に流出していた仕事の地産地消と首都圏からの仕事獲得を図る。また、クラウドソーシング事業の運営に市民ランサーを活用することで、クラウドソーシング事業運営による市民への仕事創出活動にもつなげる。							
事業概要	スキルを持つ女性やアクティブシニア等を対象に、時間や場所、業務の種類を選ばないクラウドソーシングを導入し、市外に流出していた仕事の地産地消と首都圏からの仕事獲得を図る藤枝ICTコンソーシアムの活動の支援。				くらシェア チラシ			
事業経費内訳	補助金: 38,500,000円 (交付先: 藤枝ICTコンソーシアム 補助率: 10/10)							
	項 目				評 価			
事業の有効性	全体の成果目標(KPI)の達成に資するために有効な事業であったか。				2: KPIの達成に有効であった			
事業の効率性	事業実施にあたり、効率的かつ低コストで実施できているか。				1: 効率的かつ低コストであった			
事業の総合効果	本事業は、本市が目指す地方創生(しごととひとを継続的に呼び込む)に有効であったか。				2: 地方創生に相当程度効果があった			
事業の評価	市民ランサー数は、令和元年度末時点で、累計430人と目標を大幅に上回る数値となった。また、大規模受注案件等について、市民ランサーでは対応できない場合の対策として、市内企業と連携した受注体制(企業ランサー)の登録を開始。これにより、昨年度は受注できなかった単価50万円以上の高額案件受注に成功した。			事業の改善点	令和元年度は市外企業に積極的な営業活動を行い、発注金額の約8割を市外企業から受注。今後も継続的な運用に向けて、幅広い企業へのPRを行っていく。また、市民ランサー登録者数をさらに増加させるため、市民向けのPRも引き続き行っていく。			
実績値を踏まえた今後の事業展開	今後の方針	事業の継続		今後の方針理由	藤枝版クラウドソーシングを新しい働き方の選択肢として市民に提供するとともに、企業向けにも営業等を実施することで仕事の受発注件数の増加を図る。また、自走に向けてビジネスモデルの確立する。			

令和元年度地方創生交付金事業評価シート

事業No.

4

事業名	オープンスペースの設置					作成責任者
事業開始年月	平成31年4月	事業終了年月	令和2年3月	担当課	ICT推進室	齋藤 栄一郎
交付金名	地方創生推進交付金(ICTで人の流れを呼び込む教育・産業づくり推進プロジェクト)			事業費	事業費(円)	5,000,000 うち交付金充当額(円)
総合戦略基本方針	産業としごとを創る健康都市	政策パッケージ	地域産業の振興と人材育成、雇用の創出	総合戦略施策名	地元企業の振興(ローカルイノベーション)	
事業目的	クラウドソーシングを活用する市民ワーカーのためのワークスペースを創出する。			 <p>藤枝市産学官連携推進センター</p>		
事業概要	クラウドソーシングを利用する市民ワーカーのためのスペース設置を推進するため、藤枝ICTコンソーシアムに対して支援を行う。藤枝市産学官連携推進センター及び静岡産業大学藤枝駅前キャンパスに相談窓口を設置し、ワーカーの相談対応や管理面談等を行う。					
事業経費内訳	補助金:5,000,000円 (交付先:藤枝ICTコンソーシアム 補助率:10/10)					
	項 目				評 価	
事業の有効性	全体の成果目標(KPI)の達成に資するために有効な事業であったか。			2:KPIの達成に有効であった		
事業の効率性	事業実施にあたり、効率的かつ低コストで実施できているか。			1:効率的かつ低コストであった		
事業の総合効果	本事業は、本市が目指す地方創生(しごととひとを継続的に呼び込む)に有効であったか。			2:地方創生に相当程度効果があった		
事業の評価	クラウドソーシングを活用する市民ワーカーのためのワークスペースを創出することで、市民ワーカーの働く場所を提供。クラウドソーシング事業を提供するICTコンソーシアム事務局、及びディレクターが常駐する環境下でのスペース提供は、相談窓口としての利便性も兼ね備えることから、効率的・効果的な設置となっている。また30年度から引き続き、試行的に民間で運営しているワークスペースを確保、セキュリティ面の配慮が求められる業務の受注に結び付いた。			事業の改善点	フリーWi-Fi等の環境が整っている産学官連携推進センターの継続活用を軸に、市民ワーカー及び発注企業のニーズを見極めてワークスペースを確保していく。	
実績値を踏まえた今後の事業展開	今後の方針	事業の継続		今後の方針理由	複数の会場を活用し、ワーカーの利便性向上を検討していく。	

令和元年度地方創生交付金事業評価シート

事業No.

5

事業名	地元産業ICT導入促進事業					作成責任者		
事業開始年月	平成31年4月	事業終了年月	令和2年3月	担当課	産業政策課		岡村 庄太	
交付金名	地方創生推進交付金 (ICTで人の流れを呼び込む教育・産業づくり推進プロジェクト)			事業費	事業費(円)	25,000,000	うち交付金充当額(円)	12,500,000
総合戦略基本方針	産業としごとを創る健康都市	政策パッケージ	地域産業の振興と人材育成、雇用の創出		総合戦略施策名	地元企業の振興(ローカルイノベーション)		
事業目的	産学官金を連携させたICTの効果的な活用により、中小企業の業務・収益改善や企業の稼ぐ力と新分野への展開力を生み出すことで、企業の生産性の向上や効率化、事業の拡大を促進して、地域経済の活性化を図る。					 		
事業概要	地元企業等の業務の改善、収益の向上を図るため、ICTの導入診断や事業者間のマッチング、その他ICTの導入を促進するICTコンソーシアムに対する補助金交付。 ・AIセミナー及びキャッシュレス決済セミナーの実施 AIの導入に向けた前段階として、企業の課題や解決したい問題点を認識することの重要性や具体的なマーケティングの手法についてのセミナーの実施。また、キャッシュレスの仕組みや導入についてのセミナー後にキャッシュレス事業者からの説明会を設け、導入を支援。 ・個別対応セミナー 消費税増税に伴う具体的な対処方法のセミナーを各団体個別に実施することで、キャッシュレス決済の導入を支援。 ・ICT導入に向けたコンサルティング 企業訪問件数:446件 ICT導入企業数:34社					AIセミナー キャッシュレスセミナー		
事業経費内訳	補助金:25,000,000円 (交付先:藤枝ICTコンソーシアム 補助率10/10)							
	項目					評価		
事業の有効性	全体の成果目標(KPI)の達成に資するために有効な事業であったか。					2:KPIの達成に有効であった		
事業の効率性	事業実施にあたり、効率的かつ低コストで実施できているか。					2:効率的であったが、低コストでなかった		
事業の総合効果	本事業は、本市が目指す地方創生(しごととひとを継続的に呼び込む)に有効であったか。					2:地方創生に相当程度効果があった		
事業の評価	市内企業の9割以上が中小企業でありICTに関する意識が高くないことから、消費税増税に伴うキャッシュレス導入の促進に焦点を絞った結果、ICT導入者数に効果があった。また、AIに関しては、導入者数が1社あったことから、これを機に翌年度以降も導入による利点をPRしていく必要がある。コンサルティング業務は4年目を迎え、訪問回数の増加による事業者との面識も広くなり、個別企業へのヒアリングにより、KPIを上回るICT導入企業数を確保するなど事業が有効であった。			事業の改善点		キャッシュレス決済の推進による事業効果はある程度得られたことから、今後はAIの導入事例をPRしていき、技術継承や労働生産性向上に向けたさらなるICTの導入に向け支援を継続していく必要がある。		
実績値を踏まえた今後の事業展開	今後の方針	事業の継続		今後の方針理由	引き続き事業者に寄り添った伴走型の支援に取り組んでいく。			

令和元年度地方創生交付金事業評価シート

事業No.

6

事業名	データ利活用に向けたスマートシティ推進事業					作成責任者	
事業開始年月	令和元年7月	事業終了年月	令和2年3月	担当課	教育政策課	大澤 愛美	
交付金名	地方創生推進交付金(ICTで人の流れを呼び込む教育・産業づくり推進プロジェクト)			事業費	事業費(円)	868,592	
					うち交付金充当額(円)	434,296	
総合戦略基本方針	出会いと子どもの未来を創る健康都市	政策パッケージ	藤枝型の人を育む教育の推進	総合戦略施策名	安心して学べる学校づくり		
事業目的	見守りサービスを提供する事業者を支援することで、利用促進を図り、児童生徒及びその保護者が、安全安心に生活できる環境を創出する。児童生徒の通学路における移動経路のデータを利活用し、登下校中の安全、安心対策を強化する。						
事業概要	IoT端末を利用し、子どもの位置情報を保護者のスマートフォンで確認できる見守りサービスを提供する事業者に対し、補助金を交付。 ・補助対象:本市在住の児童生徒に対し、市が定める要件を満たす「子ども見守りサービス」を提供する事業者(令和元年度登録事業者:中部電力(株)、(株)TOKAIホールディングス、ドリームエリア(株)) ・補助額等:IoT端末及びサービスを利用するために必要となる周辺機器の購入に対し、市内在住の児童生徒1人につき1回、5,000円を上限に助成					 	
事業経費内訳	補助金:868,592円 (交付先:登録事業者、補助額:1件につき上限5,000円)					見守りサービスの端末	見守りサービスの活用の様子
	項目				評価		
事業の有効性	全体の成果目標(KPI)の達成に資するために有効な事業であったか。				2:KPIの達成に有効であった		
事業の効率性	事業実施にあたり、効率的かつ低コストで実施できているか。				1:効率的かつ低コストであった		
事業の総合効果	本事業は、本市が目指す地方創生(しごととひとを継続的に呼び込む)に有効であったか。				2:地方創生に相当程度効果があった		
事業の評価	174件(868,592円)の補助金を登録事業者に交付し、見守りサービスの利用促進と保護者の不安軽減が図られた。通学路における安全安心施策(見守りボランティアの効果的な配置、道路補修の効率化等)に向け、児童生徒の移動経路データが蓄積できた。			事業の改善点	今後も引き続き、制度の周知徹底を図り、利用促進に努めることで、利用者の増加を目指すとともに、移動経路のデータの活用拡大を検討していく。		
実績値を踏まえた今後の事業展開	今後の方針	事業の継続		今後の方針理由	引き続き、児童生徒及びその保護者が、安全で安心して生活できる環境を整備するため、本事業を継続して実施し、制度の周知徹底を図り、利用促進に努める。		

令和元年度地方創生交付金事業評価シート

事業No.

7

事業名	IoT活用促進事業				作成責任者	
事業開始年月	平成31年4月	事業終了年月	令和2年3月	担当課	ICT推進室	
交付金名	地方創生推進交付金 (ICTで人の流れを呼び込む教育・産業づくり推進プロジェクト)			事業費	事業費(円)	9,000,000
					うち交付金充当額(円)	4,500,000
総合戦略基本方針	産業としごとを創る健康都市	政策パッケージ	地域産業の振興と人材育成、雇用の創出	総合戦略施策名	地元企業の振興(ローカルイノベーション)	
事業目的	行政課題に対応し、かつ民間事業者による展開や実装の可能性の高いIoT活用実証実験を実施する。			 		
事業概要	<p>【AI水循環】AIを搭載した水循環システムを実証導入、仮設シャワーの活用可能性を検証する。</p> <p>【AI路面検知】カメラを車両に搭載し、路面情報を可視化、道路修繕につなげるシステムの実証実験を行う。</p> <p>【AI分析】アンケート結果の分析にAIを活用、集計や分析の負担軽減を検証する。</p>			<p>【AI水循環】シニアサッカー大会会場に設置</p>  		
事業経費内訳	負担金：4,095,360円【AI水循環】 3,996,000円【AI路面検知】 908,640円【AI分析】 (負担先：ソフトバンク株式会社)			<p>【AI路面検知】カメラ設置</p> <p>【AI路面検知】ひび割れを検知</p>		
	項目			評価		
事業の有効性	全体の成果目標(KPI)の達成に資するために有効な事業であったか。			2: KPIの達成に有効であった		
事業の効率性	事業実施にあたり、効率的かつ低コストで実施できているか。			2: 効率的であったが、低コストでなかった		
事業の総合効果	本事業は、本市が目指す地方創生(しごととひとを継続的に呼び込む)に有効であったか。			3: 地方創生に効果があった		
事業の評価	<p>【AI水循環】藤枝シニア草サッカー大会、宿泊体験型避難訓練にて試験運用を行った。利用者の87%が快適だったと回答した。</p> <p>【AI路面検知】道路のひび割れ等を検知でき、有効性が確認できた。ただ、市内全域の道路状況を点検するためには、より細い道路まで入り込む必要があると考えられる。</p> <p>【AI分析】AIを活用することで、データ集計・分析にかかる人的コストを削減。またAIを活用した分析によって、従来とは違う視点での集計を行うことができた。</p>			事業の改善点 AI水循環システムは有効性が認められ導入に至った。今年度は、システムの機動性向上を目指し、WOTA(株)と株モリタとともにシャワーカーの共同開発を実施する。次年度以降も、実証実験の評価を基に実導入に向けての検討を行っていく。庁内各課の課題解決に役立てていくため、引き続き市民サービスの向上に向けた先端技術導入実証実験を進めていく。		
実績値を踏まえた今後の事業展開	今後の方針	事業の継続		今後の方針理由	課題解決のために先端技術を導入し、最適化を図る取組を推進していく。	

令和元年度地方創生交付金事業評価シート

事業No.

8

事業名	産学官連携による「情報ビジネス」創造事業					作成責任者		
事業開始年月	平成31年4月	事業終了年月	令和2年3月	担当課	企画政策課	鈴木 一成		
交付金名	地方創生推進交付金(大学を核に、情報ビジネスで人の流れをつくる 藤枝”活動・交流都心”創造計画)			事業費	事業費(円)	10,500,000	うち交付金充当額(円)	5,250,000
総合戦略基本方針	ひとの流れを創る健康都市	政策パッケージ	移住・定住の促進	総合戦略施策名	産学官連携による若者の地元定着促進			
事業目的	<p>「人と産業を育て、つなげる」をコンセプトとして、学生の地元定着と地域産業の振興、中心市街地の活性化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域における雇用・就職のマッチング促進 ・地元企業と市民、学生のコミュニケーション促進による地元産業の見える化 ・実戦力のある人材育成 ・市民、学生の学習環境の創出 					 <p>地元企業と大学生の交流</p>		
事業概要	<p>藤枝市産学官連携推進センターを拠点に藤枝市産学官連携推進協議会が実施する各種取組を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤枝市産学官連携推進協議会の事務局業務 ・学生が地元企業を取材し、企業の魅力を紹介する「企業探索BOOK3」の制作 ・学生による1日企業体験 ・地元企業と学生の交流会 ・ビジネスプランをテーマにしたアクティブラーニングの実施 ・まちづくりセミナー(教養講座:全15回、市民向けパソコン講座:全16回)の開催 					 <p>1日企業体験</p>		
事業経費内訳	<p>補助金: 10,500,000円 (交付先: 藤枝市産学官連携推進協議会、補助率: 10/10)</p>					 <p>企業探索BOOK</p>		
	項目					評価		
事業の有効性	全体の成果目標(KPI)の達成に資するために有効な事業であったか。					2: KPIの達成に有効であった		
事業の効率性	事業実施にあたり、効率的かつ低コストで実施できているか。					1: 効率的かつ低コストであった		
事業の総合効果	本事業は、本市が目指す地方創生(しごととひとを継続的に呼び込む)に有効であったか。					1: 地方創生に非常に効果があった		
事業の評価	<p>産学官連携推進拠点を中心に、幅広い取組が展開され、学生や企業の協働や活動交流、顔の見える関係が生まれた。人の流れを呼び込む基礎的な取り組みが進められたという点においては、今後につながるものと考えられる。</p> <p>また、KPI以外の成果として、大きな人の流れが生まれたことにより、BiVi藤枝内に託児機能付きオフィスや飲食店、フィットネスクラブなどが出店するなど、民間投資がより活発になっており、中心市街地の賑わい創出にも大きく貢献している。</p>					<p>事業の改善点</p> <p>引き続き、産学官金が連携して、地域の企業と学生を育てつなげる取組を実施していく必要がある。</p>		
実績値を踏まえた今後の事業展開	今後の方針	事業の継続			今後の方針理由	本交付金事業としては終了となるが、産学官金の連携する土壌が培われつつあり、学生と地域の企業をつなげる流れを確立していくため、令和2年から新規の交付金事業として発展的に取り込んでいく。		

令和元年度地方創生交付金事業評価シート

事業No.

9

事業名	トライアルスペース開設・運営事業					作成責任者		
事業開始年月	平成31年4月	事業終了年月	令和2年3月	担当課	中心市街地活性化推進課		茂木 啓輔	
交付金名	地方創生推進交付金(大学を核に、情報ビジネスで人の流れをつくる 藤枝”活動・交流都心”創造計画)			事業費	事業費(円)	3,000,000	うち交付金充当額(円)	1,500,000
総合戦略基本方針	ひとの流れを創る健康都市	政策パッケージ	移住・定住の促進		総合戦略施策名	高校・大学連携による若者の地元定着促進		
事業目的	起業創業や新ビジネスの創出を支援するとともに、中心市街地の魅力や賑わいの創出を一体的に推進するため、起業を目指す者などが試行的に出店できるスペース(トライアルショップ)を「BiVi藤枝」に設置・運用する。					 PRイベント開催時		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・R1年度は実出店者数51人がトライアルスペースに出店(稼働ブース数1,021ブース) ・PRイベント3回開催(12月、1月、2月) ・出店者向けセミナー&交流会(9月) ・ディスプレイ(2月のPRイベントにあわせ、トライアルスペースをバレンタインフォトブースに装飾) ・広報活動(K-mix、する〜かる・ふじえ〜ら掲載等) ・ブースのリノベーション実施 					 PRイベント開催時		
事業経費内訳	補助金:3,000,000円 (交付先:株まちづくり藤枝 補助率:10/10)					 フォトブース装飾		
						 ブースのリノベーション		
	項目					評価		
事業の有効性	全体の成果目標(KPI)の達成に資するために有効な事業であったか。					2:KPIの達成に有効であった		
事業の効率性	事業実施にあたり、効率的かつ低コストで実施できているか。					1:効率的かつ低コストであった		
事業の総合効果	本事業は、本市が目指す地方創生(しごととひとを継続的に呼び込む)に有効であったか。					2:地方創生に相当程度効果があった		
事業の評価	PRイベントの開催や出店者向けのセミナー・交流会を実施したことにより、トライアルスペースの知名度が上がり、稼働ブース数が大幅に増加したほか、定期的にスペースを貸し切って独自にマルシェを開催する団体が出てくるなど、コミュニティ形成の機会やにぎわい創出の場となっている。また、ブースをリノベーションすることで、より出店したくなるような高質空間が生まれた。これらのことから、起業創業の支援や新ビジネスの創出、中心市街地の魅力や賑わいの創出を一体的に行うことができた。			事業の改善点		今後も引き続き、積極的なPRやスペースの高質化により、出店者増を目指すとともに、エフドアや創業支援担当課との連携により、起業、創業への総合的な支援を行っていく。		
実績値を踏まえた今後の事業展開	今後の方針	事業の継続			今後の方針理由	起業創業の支援や新ビジネスの創出、中心市街地の魅力や賑わいの創出に一定の成果を上げているため。		

令和元年度地方創生交付金事業評価シート

事業No.

10

事業名	「食メディア」研究・展開事業					作成責任者		
事業開始年月	平成31年4月	事業終了年月	令和2年3月	担当課	企画政策課		鈴木 一成	
交付金名	地方創生推進交付金(大学を核に、情報ビジネスで人の流れをつくる 藤枝”活動・交流都心”創造計画)			事業費	事業費(円)	4,000,000	うち交付金充当額(円)	2,000,000
総合戦略基本方針	ひとの流れを創る健康都市	政策パッケージ	移住・定住の促進		総合戦略施策名	産学官連携による若者の地元定着促進		
事業目的	人の生活に欠かせない「食」を通じて、地域における課題(地産地消の推進、地場産品の販路拡大、フードロスの削減、食育の推進、男性の家事参加促進等)の啓発啓蒙と新たな価値創造を行う。							
事業概要	<p>藤枝市産学官連携推進協議会(ABC Cooking Studioと協力)の取組を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤枝産給食メニューの開発と市内小中学校給食での提供(食育) ・トウモロコシの収穫から調理までの体験とフードロス削減メニューの開発(フードロス削減、3R推進) ・料理下手な男性でも作れる時短レシピの開発と調理教室の開催(男性の家事参加) ・女子高校生、女子大学生と連携した藤枝産食材を使ったオリジナルドリンク開発(地産地消、販路拡大) 							
事業経費内訳	補助金:4,000,000円 (交付先:藤枝市産学官連携推進協議会、補助率:10/10)							
	項 目					評 価		
事業の有効性	全体の成果目標(KPI)の達成に資するために有効な事業であったか。					2:KPIの達成に有効であった		
事業の効率性	事業実施にあたり、効率的かつ低コストで実施できているか。					1:効率的かつ低コストであった		
事業の総合効果	本事業は、本市が目指す地方創生(しごととひとを継続的に呼び込む)に有効であったか。					1:地方創生に非常に効果があった		
事業の評価	生活に欠かせない「食」を通して地域の課題等について啓発、PRすることで、参加者が気軽に参加できる環境を創出でき、また課題等をより身近に感じ、それぞれの参加者の今後の行動に対するきっかけとなった。また、料理教室大手のABC Cooking Studioと連携することで、民間企業のノウハウを生かした訴求力の高い取組や地元食材の発信、新たな食の価値創造が進んだ。			事業の改善点		継続的で発展的な取組となるよう、さらに多様な主体との連携を進めていく。		
実績値を踏まえた今後の事業展開	今後の方針	事業の継続		今後の方針理由	交付金事業としては終了となるが、藤枝ならではのメニュー開発ができたので、今後は広く情報発信し、地産地消の推進、販路拡大につなげていく。			



藤枝産給食メニュー



自ら収穫した食材での食べ切り調理



父親向け料理教室



女子学生まちづくり会議で開発したドリンク

令和元年度地方創生交付金事業評価シート

事業No.



11

事業名	「情報メディア」研究・展開事業					作成責任者
事業開始年月	平成31年4月	事業終了年月	令和2年3月	担当課	企画政策課	鈴木 一成
交付金名	地方創生推進交付金(大学を核に、情報ビジネスで人の流れをつくる 藤枝”活動・交流都心”創造計画)			事業費	事業費(円)	1,500,000 うち交付金充当額(円) 750,000
総合戦略基本方針	ひとの流れを創る健康都市	政策パッケージ	移住・定住の促進	総合戦略施策名	産学官連携による若者の地元定着促進	
事業目的	若者が地域づくりに関わり、地域を知ることにより、愛着の醸成を図る。また、若者視点での情報発信を行うことで、若者定着に向け、訴求力を高める。					
事業概要	地域メディア(TOKAIケーブルネットワーク)を活用した情報発信を支援し、地域学生が、企画やロケ、市民インタビュー、番組進行を担う藤枝の地域情報や市内企業を学生目線で紹介する5分間の情報発信番組を制作し、毎日ケーブルテレビで放映。					 <p>撮影の様子</p>  <p>学生による企画風景</p>
事業経費内訳	補助金:1,500,000円 (交付先:藤枝市産学官連携推進協議会、補助率:10/10)					 <p>番組①</p>  <p>番組②</p>
	項目				評価	
事業の有効性	全体の成果目標(KPI)の達成に資するために有効な事業であったか。				2:KPIの達成に有効であった	
事業の効率性	事業実施にあたり、効率的かつ低コストで実施できているか。				1:効率的かつ低コストであった	
事業の総合効果	本事業は、本市が目指す地方創生(しごととひとを継続的に呼び込む)に有効であったか。				1:地方創生に非常に効果があった	
事業の評価	番組の制作を通して、学生が、藤枝の魅力を確認するきっかけを作ることができた。また、毎日2回放映することで一定数の視聴者に対して藤枝の魅力を発信することができ、若年層への藤枝の魅力発信に効果を上げている。			事業の改善点	制作した動画をケーブルテレビだけでなく、SNSやYouTubeなどのツールを使用し、より広く発信していく。また、桜まつり、藤まつりなどのイベントPRを行うなど、更なる魅力発信、賑わい創出につなげていく。	
実績値を踏まえた今後の事業展開	今後の方針	事業の継続		今後の方針理由	交付金事業としては終了となるが、当事業に関わった若者の総数を増やすことで、多くの若者にこの地域を知り郷土愛を醸成してもらうため。	

令和元年度地方創生交付金事業評価シート

事業No.

12

事業名	「まちづくりデザイン」研究・展開事業					作成責任者		
事業開始年月	令和元年5月	事業終了年月	令和2年3月	担当課	中心市街地活性化推進課		塚本 一裕	
交付金名	地方創生推進交付金(大学を核に、情報ビジネスで人の流れをつくる 藤枝”活動・交流都心”創造計画)			事業費	事業費(円)	2,500,000	うち交付金充当額(円)	1,250,000
総合戦略基本方針	コンパクト+ネットワークで創る健康都市	政策パッケージ	多彩な個性輝く拠点の形成		総合戦略施策名	集約型都市拠点、地域拠点の形成(「コンパクトシティ」と「小さな拠点」の形成)		
事業目的	駅前地区再開発コンセプトである「持続可能で魅力あふれる徒歩圏暮らし」の実現を目指し、産学官によるエリアマネジメントに関する調査研究、具体的な取組等を支援し、さらなる街なか居住や民間投資の促進を図る。					 イベント会場		
事業概要	実施主体の(株)まちづくり藤枝に間接補助を行い、駅前3地区の市街地再開発事業関係者や駅前商店街などで構成された藤枝駅前地区総合再生会議において、同会議にて定めた紳士協定である「藤枝駅前地区まちづくり憲章」に基づくテーマ「コミュニティ」について、新住民と既存住民や商店街との活動・交流機会の創出のための、モデル事業となるコミュニティイベントを実施した。					 かまどベンチ展		
事業経費内訳	補助金:2,500,000円 (交付先:(株)まちづくり藤枝 補助率10/10)					 マンホールトイレ展示		
	項 目					評 価		
事業の有効性	全体の成果目標(KPI)の達成に資するために有効な事業であったか。					2:KPIの達成に有効であった		
事業の効率性	事業実施にあたり、効率的かつ低コストで実施できているか。					1:効率的かつ低コストであった		
事業の総合効果	本事業は、本市が目指す地方創生(しごととひとを継続的に呼び込む)に有効であったか。					2:地方創生に相当程度効果があった		
事業の評価	子育て世代を中心に居住人口が増加している中心市街地において、約4割が転入者であり、「コミュニティ」の希薄化が進展する中で、新住民と既存の住民や商店街等との「コミュニティの創出」は災害時においても非常に重要であり、効果があった。コミュニティイベントの実施により、交流の創出につながったと同時に、会場となったコミュニティパークの防災設備の展示により、災害時の活用方法も周知ができた。			事業の改善点		まちづくり憲章のテーマの一つである、「景観」についても研究を進める。		
実績値を踏まえた今後の事業展開	今後の方針	事業の継続		今後の方針理由	今年度の成果を次年度の実効性の高い取り組みにつなげ、良好な住環境づくりを推進するため。			

令和元年度地方創生交付金事業評価シート

事業No.

13

事業名	街なかストックリノベーション促進事業				作成責任者	
事業開始年月	令和元年5月	事業終了年月	令和2年3月	担当課	中心市街地活性化推進課	
交付金名	地方創生推進交付金(大学を核に、情報ビジネスで人の流れをつくる 藤枝”活動・交流都心”創造計画)			事業費	事業費(円)	2,500,000
					うち交付金充当額(円)	1,250,000
総合戦略基本方針	コンパクト+ネットワークで創る健康都市	政策パッケージ	多彩な個性輝く拠点の形成		総合戦略施策名	集約型都市拠点、地域拠点の形成(「コンパクトシティ」と「小さな拠点」の形成)
事業目的	貴重なストックを有効活用し、リノベーションによるまちづくりを推進するため、街なかの空き店舗等への出店に向けたプロセスや開業等の支援を行い、個性的で魅力ある店舗の出店促進によるエリアの求心力の向上を図る。					 <p>勉強会の様子</p>
事業概要	実施主体である(株)まちづくり藤枝に補助を行い、駅周辺の空き店舗調査や、物件所有者へのアンケート調査及び勉強会を開催した。また、リノベーションの推進組織となる「中心市街地リノベーションまちづくり推進機構」を立ち上げた。					
事業経費内訳	補助金:2,500,000円 (交付先:株まちづくり藤枝 補助率10/10)					
	項目				評価	
事業の有効性	全体の成果目標(KPI)の達成に資するために有効な事業であったか。				2:KPIの達成に有効であった	
事業の効率性	事業実施にあたり、効率的かつ低コストで実施できているか。				1:効率的かつ低コストであった	
事業の総合効果	本事業は、本市が目指す地方創生(しごととひとを継続的に呼び込む)に有効であったか。				2:地方創生に相当程度効果があった	
事業の評価	推進組織の立ち上げや勉強会による普及啓発活動を行ったことにより、推進力・実行力の確保と誰もがリノベーションまちづくりに参加しやすい環境づくりにつながった。これによりエリアの魅力向上につながるものとする。			事業の改善点	実効性の高い取り組みとなるよう、推進組織の改善や強化、積極的な情報発信が必要。	
実績値を踏まえた今後の事業展開	今後の方針	事業の継続		今後の方針理由	推進組織の改善や強化、積極的な情報発信、モデル事業の実施により、リノベーションまちづくりを推進するため。	



令和元年度地方創生交付金事業評価シート

事業No.

14

事業名	静岡県中部地区広域連携による観光まちづくりプロジェクト					作成責任者		
事業開始年月	平成31年4月	事業終了年月	令和2年3月	担当課	商業観光課	前田 一徳		
交付金名	地方創生推進交付金(静岡県中部地区広域連携による観光まちづくりプロジェクト)			事業費	事業費(円)	5,000,000	うち交付金充当額(円)	2,500,000
総合戦略基本方針	ひとの流れを創る健康都市	政策パッケージ	広域都市交流の推進	総合戦略施策名	地域資源を生かした着地型観光の推進			
事業目的	<p>広域連携により、「しずおか中部」を観光客と地域住民、観光客同士、また国内旅行者とインバウンド旅行者など、多様な主体が活発に対話、交流し、「学び」を得るユニークな観光が展開される場所に転換する。中部地区が有する多様な産業や素材、首都圏からのアクセシビリティの高さ、ゴールデンルート上に位置する立地性、かつ大都市圏(東京・京都・大阪)にはない、多様な自然資源等の強みなどの特徴を最大限活かし、かつ生活者のニーズに沿った、3つのテーマを軸に独自の観光目的地化を図り、ブランディングを図る。</p>					 <p>MANAVIVA! 水車むら</p>		
事業概要	<p>次の事業を行う静岡の中部志太榛原5市2町で立ち上げたDMOに負担金を支払うとともに、協力して事業実施した。 (1)教育プログラム開発ワークショップ (2)旅行商品造成・プロモーション (3)宿泊活性施策 (4)メディアファームトリップ (5)ブランドプロモーション (6)WEB・SNS等資源プロモーション (7)国内市場調査及び事業効果測定</p>					 <p>茶氷 藤枝市陶芸センター</p>		
事業経費内訳	<p>○静岡県中部・志太榛原地域DMO負担金5,000,000円 (支払先:公益財団法人するが企画観光局)</p>					 <p>MANAVIVA! 藤枝市陶芸センター</p>		
	項目					評価		
事業の有効性	全体の成果目標(KPI)の達成に資するために有効な事業であったか。					2:KPIの達成に有効であった		
事業の効率性	事業実施にあたり、効率的かつ低コストで実施できているか。					1:効率的かつ低コストであった		
事業の総合効果	本事業は、本市が目指す地方創生(しごととひとを継続的に呼び込む)に有効であったか。					2:地方創生に相当程度効果があった		
事業の評価	静岡の中部志太榛原5市2町で立ち上げたDMO(公益財団法人するが企画観光局)による専門的視野に基づいた事業の実施により、特にプロモーションなどでは、「茶氷」事業等と連携させたネット記事の活用等により、本市の情報発信を効率的に実施できた。また、本市の観光施設や事業者を利用した体験ツアーを造成することで、本市への誘客拡大を図ることができた。			事業の改善点		<p>本年度の準備を元に、次年度速やかに事業化できるよう連絡調整を密にする必要がある。また、DMOのテーマに賛同し、事業を実施する本市事業者とのマッチング及び、参画事業者を増やしていく必要がある。</p>		
実績値を踏まえた今後の事業展開	今後の方針	事業の継続			今後の方針理由	<p>地域資源を活かした観光商品を、本市事業者等とともに連携して販売していくことで本市来訪者数の増加が期待できるため。</p>		

令和元年度地方創生交付金事業評価シート

事業No.

15

事業名	デュアルライフ推進事業					作成責任者		
事業開始年月	平成31年4月	事業終了年月	令和2年3月	担当課	中山間地域活性化推進課	渥美 英左		
交付金名	地方創生推進交付金(藤枝版コンパクト+ネットワーク型CCRC 高齢者が活躍するまちづくり)			事業費	事業費(円)	285,550	うち交付金充当額(円)	104,078
総合戦略基本方針	ひとの流れを創る健康都市	政策パッケージ	移住・定住の促進	総合戦略施策名	藤枝ならではの移住・定住の促進			
事業目的	地方での暮らしに関心があるアクティブシニア世代に対し、本市での暮らしの魅力の紹介や移住相談の実施により移住を促進する。また、若い世代の相談者に対し、元気な高齢者との身近な暮らしを魅力の一つとして売り込み、本市の中山間地域への移住を促し、地域コミュニティの維持と活性化を図る。							
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ●首都圏や関西圏で開催される移住相談会への出展 静岡まるごと移住フェア(夏) / やまなし×しずおか住相談会 / おいでや! 田舎暮らしフェア / 静岡まるごと移住フェア(冬) ●面談・電話・メールでの相談対応 ●現地案内の実施 ●ふじえだの田舎暮らし体験ツアーの開催(※参加希望者との日程が合わなかったことから個別での現地案内に代替) ●移住者のおうちde相談会の開催(※新型コロナウイルス感染症拡大防止の一環で中止) 					 		
事業経費内訳	会場使用料及び賃借料 104,800円 役務費 12,099円 謝礼 20,900円 旅費 97,900円(内交付対象外60,100円) 消耗品費 42,722円(内交付対象外 10,164円) 燃料費 7,129円(内交付対象外 7,129円)					移住相談会での相談対応の様子 移住相談会での本市の暮らしのPRの様子		
	項 目					評価		
事業の有効性	全体の成果目標(KPI)の達成に資するために有効な事業であったか。					2: KPIの達成に有効であった		
事業の効率性	事業実施にあたり、効率的かつ低コストで実施できているか。					1: 効率的かつ低コストであった		
事業の総合効果	本事業は、本市が目指す地方創生(しごととひとを継続的に呼び込む)に有効であったか。					3: 地方創生に効果があった		
事業の評価	移住相談会におけるPRや相談対応をきっかけに、本市への移住を検討する者が多数生まれ、効果的なPRができた。相談会後に本市へ足を運ぶ移住希望者も多く、実際に本市の中山間地域へ移住した家族も存在するが、移住希望者の多くは時間をかけて慎重に移住先を決めることから、引き続き、きめ細やかな伴走型の移住支援を進めていく必要がある。			事業の改善点		きめ細やかな伴走型の移住支援を進めていくために、令和2年4月に先輩移住者で組織された移住・定住支援団体「さとやママ」に移住・定住相談業務を委託。この団体への業務委託により、以下の点が改善または充実する。 ・移住希望者の多くは先輩移住者への相談を希望することから需要と整合させる。 ・移住の経験と市街地や中山間地域での暮らしの経験を生かした相談対応を行う。 ・市職員とは異なり相談担当者の入れ替わりがないことから、切れ目のない伴走型の移住・定住支援の実現と相談スキルの安定化を図る。		
実績値を踏まえた今後の事業展開	今後の方針	事業の継続			今後の方針理由	事業内容は継続するが、移住・定住をさらに促進するため、実施方法の一部を改善する。		

令和元年度地方創生交付金事業評価シート

事業No.

16

事業名	お試し移住事業					作成責任者		
事業開始年月	令和元年6月	事業終了年月	令和2年3月	担当課	中心市街地活性化推進課		塚本 一裕	
交付金名	地方創生推進交付金(藤枝版コンパクト+ネットワーク型CCRC 高齢者が活躍するまちづくり)			事業費	事業費(円)	3,100,000	うち交付金充当額(円)	1,550,000
総合戦略基本方針	ひとの流れを創る健康都市	政策パッケージ	移住・定住の促進		総合戦略施策名	藤枝ならではの移住・定住の促進		
事業目的	CCRCモデル実証地区内の「サービス付き高齢者向け住宅」を利用し、首都圏等のアクティブシニアを主なターゲットとしてお試し移住を実施し、藤枝への移住につなげることで、高齢者が活躍するまちの実現及び中心市街地への街なか居住の推進により更なる活性化を図る。							
事業概要	首都圏等のアクティブシニアをターゲットに、PRチラシの制作のほか、CCRCモデル実証地区内のサービス高齢者向け住宅「リヤンドファミリー」の部屋を確保し、10日間のお試し移住を実施							
事業経費内訳	委託費:3,100,000円 (委託先:NSライフ株)							
	項目					評価		
事業の有効性	全体の成果目標(KPI)の達成に資するために有効な事業であったか。					2:KPIの達成に有効であった		
事業の効率性	事業実施にあたり、効率的かつ低コストで実施できているか。					2:効率的であったが、低コストでなかった		
事業の総合効果	本事業は、本市が目指す地方創生(しごととひとを継続的に呼び込む)に有効であったか。					2:地方創生に相当程度効果があった		
事業の評価	移住を検討する際に、事前に藤枝で移住体験ができることで具体的な移住のイメージを得ることができ、藤枝市への移住の参考となっている。また、体験者の滞在中のニーズに対応するため、相談担当者となる暮らしのコンシェルジュを設置することにより、きめ細かい対応で体験をサポートしたことで、個々のニーズにあった情報提供を行うことができた。			事業の改善点		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染症への影響が大きい高齢者を対象としているため、現在体験者の受入を中止している。今後の動向を見るなかで、再開に向けて準備を行う。 ・移住の検討は長期間かかるため、すぐに結果が数字として表れにくい面がある。 		
実績値を踏まえた今後の事業展開	今後の方針	事業の継続			今後の方針理由	首都圏で移住を検討している高齢者へ、移住相談会等の機会を捉えてPRをしたところ、関心を示す相談者が多数いたことから、事業への関心は高いと考えられるため。		

令和元年度地方創生交付金事業評価シート

事業No.

17

事業名	高齢者活躍等サポート事業					作成責任者
事業開始年月	平成31年4月	事業終了年月	令和2年3月	担当課	市民活動団体支援室	田代かをる
交付金名	地方創生推進交付金(藤枝版コンパクト+ネットワーク型CCRC 高齢者が活躍するまちづくり)			事業費	事業費(円)	776,000 うち交付金充当額(円)
総合戦略基本方針	ひとの流れを創る健康都市	政策パッケージ	高齢者等が活躍できる社会づくり	総合戦略施策名	高齢者等の生きがいきづくり支援	
事業目的	自主的・主体的な地域づくりと地域の課題解決を図る公益的な取組を行う団体を支援することにより、市民と協働のまちづくりと高齢者の社会参画を推進する。					
事業概要	<p>地域づくりと地域の課題解決を図る公益的な事業を実施する市民活動団体へ経費の一部を補助する「市民活躍まちづくり事業補助金」を実施。その内、高齢者が活躍し地域貢献を行う事業や、高齢者の自立した暮らし(日常生活)等を支援する事業に交付。</p> <p>高齢者活躍支援:65歳以上の会員5人以上かつ2/3以上所属する団体が実施する事業または高齢者の生涯活躍自立した暮らしを応援する事業 上限10万円 補助率2/3以内 利用3回まで</p>					 <p>プレゼンテーション審査</p>  <p>脳の健康教室事業</p>
事業経費内訳	<p>8団体 補助金 776,000円</p> <p>○楽遊会 ○下当間ふれあいサロンー五の会 ○ディーセント'18 ○葉梨ささえ愛隊 ○はつらつ笑寿会 ○静岡県健康生きがいきづくりアドバイザー協議会 ○西益津お出掛け支援隊 ○災害ボランティア・コーディネーター藤枝</p>					
	項 目				評 価	
事業の有効性	全体の成果目標(KPI)の達成に資するために有効な事業であったか。				2:KPIの達成に有効であった	
事業の効率性	事業実施にあたり、効率的かつ低コストで実施できているか。				2:効率的であったが、低コストでなかった	
事業の総合効果	本事業は、本市が目指す地方創生(しごととひとを継続的に呼び込む)に有効であったか。				3:地方創生に効果があった	
事業の評価	<p>新設した高齢者支援区分では8団体が採択され、高齢者団体の活動の活発さや市民団体による高齢者を対象とした活動を促進できた。 団体が活動を実施する上で資金面の一助となり、高齢者の社会参画につながった。</p>			事業の改善点	<p>事業内容を周知し、制度設計を検証していく。 団体の自立を促すために団体の活動継続や活動拡大に向けた支援を検討していく。</p>	
実績値を踏まえた今後の事業展開	今後の方針	事業の継続		今後の方針理由	市民活躍まちづくり事業補助金の既存事業を再編成し、高齢者活躍等を新設した。制度を検証し、継続実施していく。	

令和元年度地方創生交付金事業評価シート

事業No.

18

事業名	「出かけっCAR」サービス支援事業					作成責任者
事業開始年月	平成31年4月	事業終了年月	令和2年3月	担当課	地域包括ケア推進課	松下 武人
交付金名	地方創生推進交付金(藤枝版コンパクト+ネットワーク型CCRC 高齢者が活躍するまちづくり)			事業費	事業費(円)	1,136,360 うち交付金充当額(円)
総合戦略基本方針	ひとの流れを創る健康都市	政策パッケージ	高齢者等が活躍できる社会づくり	総合戦略施策名	地域福祉活動の推進	
事業目的	自動車運転免許の返納等により移動が困難となり、家族等からの支援が受けられない高齢者のための外出を支援する地域住民の互助の取組を支援することにより、高齢者の移動手手段の確保及び閉じこもりの防止並びに介護予防を図り、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域づくりに寄与する。					 <p>ボランティアとの検討会</p>  <p>利用者の乗車を手伝うボランティア</p>
事業概要	家族等からの支援が受けられない高齢者のための外出支援を行う地区社会福祉協議会やその他地域の団体に対して、下記の支援を実施する市社会福祉協議会に対して委託を実施。 ・団体が使用するための自動車の貸出及び維持管理 ・ボランティア保険及び自動車保険の加入及び保険給付の手続					 <p>買い物支援を行うボランティア</p>  <p>出発式</p>
事業経費内訳	委託料:1,092,148円 (交付先:藤枝市社会福祉協議会) 需用費:44,212円					
	項 目					評価
事業の有効性	全体の成果目標(KPI)の達成に資するために有効な事業であったか。					2:KPIの達成に有効であった
事業の効率性	事業実施にあたり、効率的かつ低コストで実施できているか。					1:効率的かつ低コストであった
事業の総合効果	本事業は、本市が目指す地方創生(しごととひとを継続的に呼び込む)に有効であったか。					1:地方創生に非常に効果があった
事業の評価	地区社会福祉協議会と地域住民を中心に、買い物支援を通じて介護予防の推進を行うことができ、ひとの流れを創る上で今後につながるものとする。 令和元年度は2地区合計で284回運行し、実人数39人、のべ801人の利用があった。はじめはスーパーマーケットやドラッグストアのみへの運行であったが、年度後半では地区交流センターで開催される事業への送迎の運行も追加されるなど、行先の拡大も見られた。			事業の改善点		1回の実施に対する利用用途のニーズへの対応を図ると、ボランティア人数の強化と事業実施に使用する自動車の増台について検討する必要がある。 引き続き、市社会福祉協議会と地区社会福祉協議会との連携を推進し、事業の充実を図るとともに、新規で実施する地区の拡大を行っていく。
実績値を踏まえた今後の事業展開	今後の方針	事業を更に拡充させる			今後の方針理由	現在実施している2地区の継続とともに、令和2年度は新規実施地区として2地区を増加する予定であり、今後も未実施地区での事業実施の検討を行っていくため。

令和元年度地方創生交付金事業評価シート

事業No.

19

事業名	買い物支援サービス応援事業				作成責任者	坂口 由奈		
事業開始年月	平成31年4月	事業終了年月	令和2年3月	担当課	商業観光課			
交付金名	地方創生推進交付金(藤枝版コンパクト+ネットワーク型CCRC 高齢者が活躍するまちづくり)			事業費	事業費(円)	662,000	うち交付金充当額(円)	331,000
総合戦略基本方針	産業としごとを創る健康都市	政策パッケージ	地域産業の振興と人材育成、雇用の創出		総合戦略施策名	藤枝型買い物支援サービス応援事業		
事業目的	~高齢者を中心とした買い物に困難を抱える方の利便性を向上する~ ・買い物環境改善に取り組む団体等の支援事業を促進 ・買い物しやすい商業地づくりの実現と商店街等の商業地活性化				 <p>移動販売の様子</p>  <p>高齢者向けクーポンチラシ</p>			
事業概要	高齢者などの「買い物弱者」の利便性向上につながる民間等の次の取組を支援。 ・地域高齢者の買い物環境向上するために市内商店街振興組合が設置する店舗の運営事業 ・商店が少ない地域での移動販売事業 ・高齢者を中心とした団体加盟者の買い物環境が向上する事業(高齢者向けクーポンチラシの発行)				 <p>商店街が運営する商店の様子</p>			
事業経費内訳	補助金合計:662,000円 補助率2/3 【交付先】 ・駅前商店街振興組合 62,000円 ・(株)ファミリーマート焼津営業所 300,000円 ・藤枝宿上馬商店街振興組合 300,000円							
	項目				評価			
事業の有効性	全体の成果目標(KPI)の達成に資するために有効な事業であったか。				2:KPIの達成に有効であった			
事業の効率性	事業実施にあたり、効率的かつ低コストで実施できているか。				1:効率的かつ低コストであった			
事業の総合効果	本事業は、本市が目指す地方創生(しごととひとを継続的に呼び込む)に有効であったか。				1:地方創生に非常に効果があった			
事業の評価	市内商店街や事業者が主体となり、地域コミュニティの拠点づくりや高齢者の日常生活における利便性の向上に寄与しており、今後につながるものとする。 また、KPI以外の成果として、実施団体と地域住民等の交流から新たな事業やイベント等が創出され、世代を超えた地域コミュニティの活性化に大きく貢献している。			事業の改善点	事業自体や、支援する団体が行う事業について、引き続き、周知に努めていく必要がある。			
実績値を踏まえた今後の事業展開	今後の方針	事業の継続		今後の方針理由	高齢者の日常生活における利便性の向上のためには、買い物しやすい商業地が必要であり、今後も積極的に買い物環境向上を目指す団体を支援していく必要がある。			

令和元年度地方創生交付金事業評価シート							事業No.	20
事業名	中山間地域買い物弱者サポート事業						作成責任者	
事業開始年月	平成31年4月	事業終了年月	令和2年3月	担当課	市民活動団体支援室		田代かをる	
交付金名	地方創生推進交付金(藤枝版コンパクト+ネットワーク型CCRC 高齢者が活躍するまちづくり)			事業費	事業費(円)	451,050	うち交付金充当額(円)	206,525
総合戦略基本方針	ひとの流れを創る健康都市	政策パッケージ	高齢者等が活躍できる社会づくり		総合戦略施策名	高齢者等の生きがいづくり支援		
事業目的	市民ボランティアの社会貢献活動を促すことにより、交通利便性の低い中山間地域において、地域課題となっている買い物弱者対策の解決を促す。							
事業概要	市民ボランティアを活用した買い物代行支援と地域の法人・地域と連携し、市民ボランティアが店舗で高齢者の買い物を見守る支援を行う。						 	
事業経費内訳	委託料 413,050円 (委託先 NPO法人ふじえだ市民活動サポートぴゅあ) 支援謝金 38,000円						<p>移動支援 買い物の店舗での見守り</p> <p>代行支援 利用者宅へお届け</p>	
	項目						評価	
事業の有効性	全体の成果目標(KPI)の達成に資するために有効な事業であったか。						2:KPIの達成に有効であった	
事業の効率性	事業実施にあたり、効率的かつ低コストで実施できているか。						4:効率的でなく、低コストでなかった	
事業の総合効果	本事業は、本市が目指す地方創生(しごととひとを継続的に呼び込む)に有効であったか。						3:地方創生に効果があった	
事業の評価	市民ボランティアが延べ83人活躍でき、地域貢献につながるとともに買い物弱者への生活支援に繋がった。 代行支援での受け渡し時など、高齢者と直接会って話をすることで、介護予防面においても効果があった。 代行支援:延べ利用回数 67件 支援 67人 移動支援:実施回数 4回 支援 16人				事業の改善点		ボランティアの活用につながるよう、登録しているが未利用の方へ現状・ニーズを把握し事業促進を図る。	
実績値を踏まえた今後の事業展開	今後の方針	事業の継続			今後の方針理由	出かけっCAR事業など市内の他事業と連携し、中山間地域の買い物弱者対策をととして市民ボランティアが活躍する場を提供していく。		

令和元年度地方創生交付金事業評価シート

事業No.

21

事業名	高齢者人材活用支援事業					作成責任者
事業開始年月	令和元年12月	事業終了年月	令和2年3月	担当課	産業政策課	鈴木 裕美
交付金名	地方創生推進交付金(藤枝版コンパクト+ネットワーク型CCRC 高齢者が活躍するまちづくり)			事業費	事業費(円)	631,400
					うち交付金充当額(円)	315,700
総合戦略基本方針	産業としごとを創る健康都市	政策パッケージ	多様な人材の活躍の場づくり	総合戦略施策名	高齢者の活躍の場づくり	
事業目的	高年齢者を対象とした高年齢者向け支援セミナーと企業向けの高年齢者活用セミナー等の開催により、高齢者の人材活用と雇用の確保を図り、高年齢者の働き手の活躍機会を創出する。					
事業概要	<p>人材サポート(有)への委託事業</p> <p>①高年齢者向け支援セミナー(2月24日開催、参加者25名) キャリアコンサルタントとファイナンシャルプランナーによる以下の勉強会を実施した。 ・セカンドキャリアの考え方、自分を知ろう! 心理検査の実施、シニアの活動事例、これからのライフプラン設計</p> <p>②企業向け支援セミナー(2月14日開催、参加者14名) 静岡労働局、社会保険労務士による高年齢者雇用に関する支援策やキャリアコンサルタントによる以下の勉強会を実施した。 ・公的助成金の活用、シニアの人事管理、人材確保策とシニア教育のポイント</p>					
事業経費内訳	委託料:631,400円 (委託先:人材サポート有限会社)					
	項 目					
	評 価					
事業の有効性	全体の成果目標(KPI)の達成に資するために有効な事業であったか。					2:KPIの達成に有効であった
事業の効率性	事業実施にあたり、効率的かつ低コストで実施できているか。					1:効率的かつ低コストであった
事業の総合効果	本事業は、本市が目指す地方創生(しごととひとを継続的に呼び込む)に有効であったか。					3:地方創生に効果があった
事業の評価	<p>コロナの感染防止対策を講じる必要があり定員を少人数に限定したが、高齢者向け支援セミナーは人気が高く、定員を10人上回る25人から申し込みがあった。参加者アンケートからは、就職情報を知ることができ有益であった、自己分析の方法を知り、就職活動に必要な自己の強みやアピールポイントを見つけることができた、といった感想が寄せられ、参加者から好評価を得た。参加企業からのアンケートでは、シニア活用の為の考え方や方向性を学ぶことができ、今後もシニアとの接点を持てる機会を希望するなど、今後のマッチングに向けた基礎作りができた。</p>			事業の改善点	<p>次年度以降は、高年齢者、企業それぞれに向けたセミナーを継続し、高年齢者の就職意欲が向上し、企業側もシニア人材の活用について具体的施策を思い描けたところでお互いのマッチングができる場の創出を考えたい。</p>	
実績値を踏まえた今後の事業展開	今後の方針	事業の継続		今後の方針理由	引き続き高年齢者と企業のニーズに合わせた活躍の場を提供していく。	

令和元年度地方創生交付金事業評価シート

事業No.

22

事業名	シルバー世代雇用支援事業					作成責任者		
事業開始年月	令和元年11月	事業終了年月	令和元年11月	担当課	産業政策課		岡村 庄太	
交付金名	地方創生推進交付金(藤枝版コンパクト+ネットワーク型CCRC 高齢者が活躍するまちづくり)			事業費	事業費(円)	19,602	うち交付金充当額(円)	9,801
総合戦略基本方針	産業としごとを創る健康都市	政策パッケージ	多様な人材の活躍の場づくり		総合戦略施策名	高齢者の活躍の場づくり		
事業目的	高齢者の雇用・就労の促進と安定を図るため、平成30年度に包括連携協定を締結した大手コンビニエンスストアと連携した企業説明会により、高齢者の働き手の活躍機会を創出していく。							
事業概要	包括連携協定を締結している(株)セブン-イレブン・ジャパンと連携し、互いのニーズ(高齢者の活躍、来客の高齢化によるニーズへの対応)に対応した企業説明会を実施した。 ・(株)セブン-イレブン・ジャパンにおける高齢者雇用について ・レジ操作体験によるキャッシュレスや宅配便の対応 ・防犯対策					 <p>セミナー</p>  <p>レジ操作体験・防犯対策</p>		
事業経費内訳	需用費: 19,602円 (チラシ印刷に係るインク代)							
	項 目					評 価		
事業の有効性	全体の成果目標(KPI)の達成に資するために有効な事業であったか。					3: KPIの達成にあまり有効ではなかった		
事業の効率性	事業実施にあたり、効率的かつ低コストで実施できているか。					1: 効率的かつ低コストであった		
事業の総合効果	本事業は、本市が目指す地方創生(しごととひとを継続的に呼び込む)に有効であったか。					4: 地方創生に効果がなかった		
事業の評価	対象者である高齢者の参加者の募集に関して周知が難しかったことにより、参加者数が少なかったが、セミナーの内容や(株)セブン-イレブン・ジャパンが引き続き高齢者の雇用を促進していくことから参加した高齢者にとっては、有益な情報が得られたと考えられる。			事業の改善点		次年度以降は、福祉関係のイベントに合わせて実施するなど募集の方法を福祉部門と連携して実施することが望ましい。		
実績値を踏まえた今後の事業展開	今後の方針	事業の継続		今後の方針理由	引き続き高齢者のニーズに合った活躍の場を提供していく。			

令和元年度地方創生交付金事業評価シート

事業No.


23

事業名	仕事・人材マッチングサポート推進事業				作成責任者																																																
事業開始年月	令和元年7月	事業終了年月	令和2年3月	担当課	産業政策課																																																
交付金名	地方創生推進交付金(藤枝版コンパクト+ネットワーク型CCRC 高齢者が活躍するまちづくり)		事業費	事業費(円)	8,990,300																																																
				うち交付金充当額(円)	4,495,150																																																
総合戦略基本方針	産業としごとを創る健康都市	政策パッケージ	多様な人材の活躍の場づくり	総合戦略施策名	高齢者の活躍の場づくり																																																
事業目的	少子高齢化、人口減少に伴う企業の構造的な人手・人材不足を補うとともに、誰もが意欲と能力に応じて働くことができる地域づくりを目指すため、高齢者雇用等を希望する企業を調査し、経験やスキルのある高齢者等とのマッチングを推進し、多様な働き手の活躍機会の創出を図る。				◎中小企業等実態調査より抜粋 ▼高齢者雇用に対する意向(SA) <table border="1"> <thead> <tr> <th>高齢者雇用に対する意向(SA)</th> <th>回答数</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規採用を含め積極的に活用したい</td> <td>82</td> <td>9.8</td> </tr> <tr> <td>希望するスキルがあれば活用したい</td> <td>299</td> <td>35.7</td> </tr> <tr> <td>活用しない、活用する見込みはない</td> <td>177</td> <td>21.1</td> </tr> <tr> <td>現時点ではわからない</td> <td>280</td> <td>33.4</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>838</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table> ▼高齢者雇用で期待する具体的スキル <table border="1"> <thead> <tr> <th>高齢者雇用で希望する具体的スキル(MA)</th> <th>回答数</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総務部門管理スキル</td> <td>25</td> <td>7.2</td> </tr> <tr> <td>工場等現場管理スキル</td> <td>171</td> <td>49.1</td> </tr> <tr> <td>設計管理スキル</td> <td>40</td> <td>11.5</td> </tr> <tr> <td>機械加工スキル(切削・プレス・板金等)</td> <td>60</td> <td>17.2</td> </tr> <tr> <td>ICT活用スキル(管理、分析等)</td> <td>14</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>接客・サービススキル</td> <td>82</td> <td>23.6</td> </tr> <tr> <td>営業スキル</td> <td>79</td> <td>22.7</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>26</td> <td>7.5</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>348</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table>	高齢者雇用に対する意向(SA)	回答数	%	新規採用を含め積極的に活用したい	82	9.8	希望するスキルがあれば活用したい	299	35.7	活用しない、活用する見込みはない	177	21.1	現時点ではわからない	280	33.4	全体	838	100.0	高齢者雇用で希望する具体的スキル(MA)	回答数	%	総務部門管理スキル	25	7.2	工場等現場管理スキル	171	49.1	設計管理スキル	40	11.5	機械加工スキル(切削・プレス・板金等)	60	17.2	ICT活用スキル(管理、分析等)	14	4.0	接客・サービススキル	82	23.6	営業スキル	79	22.7	その他	26	7.5	全体	348	100.0
高齢者雇用に対する意向(SA)	回答数	%																																																			
新規採用を含め積極的に活用したい	82	9.8																																																			
希望するスキルがあれば活用したい	299	35.7																																																			
活用しない、活用する見込みはない	177	21.1																																																			
現時点ではわからない	280	33.4																																																			
全体	838	100.0																																																			
高齢者雇用で希望する具体的スキル(MA)	回答数	%																																																			
総務部門管理スキル	25	7.2																																																			
工場等現場管理スキル	171	49.1																																																			
設計管理スキル	40	11.5																																																			
機械加工スキル(切削・プレス・板金等)	60	17.2																																																			
ICT活用スキル(管理、分析等)	14	4.0																																																			
接客・サービススキル	82	23.6																																																			
営業スキル	79	22.7																																																			
その他	26	7.5																																																			
全体	348	100.0																																																			
事業概要	中小企業等実態調査により、高齢者雇用等を希望する企業を把握、整理したうえで、企業訪問等を実施しながら、経験やスキルのある高齢者等とのマッチングを推進し、多様な働き手の活躍機会の創出する。 ・市内企業の高齢者雇用等に関する需要調査により企業の把握 ・仕事を担う高齢者等のスキル等について調査、把握 ・営業用パンフレットの作成																																																				
事業経費内訳	委託費:8,990,300円 (委託先:静岡県中小企業団体中央会)																																																				
	項目			評価																																																	
事業の有効性	全体の成果目標(KPI)の達成に資するために有効な事業であったか。			3:KPIの達成にあまり有効ではなかった																																																	
事業の効率性	事業実施にあたり、効率的かつ低コストで実施できているか。			1:効率的かつ低コストであった																																																	
事業の総合効果	本事業は、本市が目指す地方創生(しごととひとを継続的に呼び込む)に有効であったか。			3:地方創生に効果があった																																																	
事業の評価	市内企業の高齢者雇用等に関する需要調査により、事業展開の基礎構築できた。 まずは、高齢者雇用を希望する400社への企業訪問を最優先することで、新たな高齢者の活躍の場づくりに繋げていく。		事業の改善点	高齢者雇用を希望する企業情報と推進体制が整ったので、前年度以上に企業訪問等とマッチングを推進していく必要がある。																																																	
実績値を踏まえた今後の事業展開	今後の方針	事業の継続	今後の方針理由	準備が整ったので、企業と高齢者雇用等のマッチングに積極的に取り組んでいく。																																																	

令和元年度地方創生交付金事業評価シート

事業No.

24

事業名	朝比奈玉露承継プロジェクト事業				作成責任者	
事業開始年月	平成31年4月	事業終了年月	令和2年3月	担当課	お茶のまち推進室	
交付金名	地方創生推進交付金(藤枝版コンパクト+ネットワーク型CCRC 高齢者が活躍するまちづくり)			事業費	事業費(円)	596,440
					うち交付金充当額(円)	298,220
総合戦略基本方針	ひとの流れを創る健康都市	政策パッケージ	藤枝の宝を磨き、伸ばす		総合戦略施策名	未来へつなぐ藤枝型茶業づくりの推進
事業目的	<p>既存の手摘み本玉露園をこれ以上減少させないよう、摘み子の育成支援策や玉露名人レジェンドによる朝比奈玉露の発信等を強化により、朝比奈玉露を次世代に継承する。 また、高齢者の経験や技術を活かし、活躍する場を創出することで、高齢者が活躍するまちづくりを推進する。</p>					 <p>後継者指導</p>  <p>玉露コンテスト打ち合わせ</p>
事業概要	<p>玉露名人レジェンドから栽培者に対する、栽培方法指導及び意見交換の実施。 摘み子体験会の実施による参加者に対する摘み方の指導の実施。 摘み子不足を解消する支援策として、摘み子バンク(ボランティア)制度を創設。 玉露PRのための「第14回玉露のうまい淹れ方コンテスト」を日本三大産地(朝比奈、宇治、八女)の連携による、開催に向け取組み。(コンテストは新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止。)</p>					
事業経費内訳	<p>負担金500,000円 (負担先:第14回玉露のうまい淹れ方コンテスト東京大会実行委員会) 謝礼55,000円 旅費21,440円 消耗品費20,000円</p>					
	項目				評価	
事業の有効性	全体の成果目標(KPI)の達成に資するために有効な事業であったか。				2:KPIの達成に有効であった	
事業の効率性	事業実施にあたり、効率的かつ低コストで実施できているか。				1:効率的かつ低コストであった	
事業の総合効果	本事業は、本市が目指す地方創生(しごととひとを継続的に呼び込む)に有効であったか。				2:地方創生に相当程度効果があった	
事業の評価	<p>農家個々の持つ栽培技術・方法の意見交換等を行い、今後の生産の参考となり栽培技術の伝承や向上が期待できる。不足する摘み子については、摘み子バンクを創設し、ボランティア20名程度(20代から60代まで)の応募があり、生産農家への負担を軽減する体制を整備できた。 また、PR事業に関しては新型コロナウイルス感染拡大に伴い直前で中止となったため、コンテストを開催できなかったが、玉露の日本三大産地(朝比奈、宇治、八女)間の連携が強化され、今後のPR活動実施における協力体制を構築することができた。</p>			事業の改善点	<p>後継者育成の講習会の定期的な開催に向け計画していく。 また、玉露のうまい淹れ方コンテストの開催に向け、引き続き三産地が連携して取り組んでいく。</p>	
実績値を踏まえた今後の事業展開	今後の方針	事業の継続		今後の方針理由	玉露名人レジェンドの経験や技術を活かし、高齢者の活躍する場を創出すると共に、朝比奈玉露を次世代に承継するため。	

令和元年度地方創生交付金事業評価シート

事業No.

25

事業名	ふじえだ健康経営プロジェクト					作成責任者		
事業開始年月	平成31年4月	事業終了年月	令和2年3月	担当課	健康企画課		松浦 大樹	
交付金名	地方創生推進交付金(藤枝版コンパクト+ネットワーク型CCRC 高齢者が活躍するまちづくり)			事業費	事業費(円)	3,099,990	うち交付金充当額(円)	1,549,995
総合戦略基本方針	ひとの流れを創る健康都市	政策パッケージ	高齢者等が活躍できる社会づくり		総合戦略施策名	介護予防の推進		
事業目的	健康無関心層と呼ばれる働き盛り世代を対象として、市内中小企業向けに健康経営の普及を進めることにより、従業員やその家族の健康寿命の延伸を図り、誰もが元気に長生きできる幸福度の高い“健康都市ふじえだ”の実現を目的とする。							
事業概要	静岡県、藤枝商工会議所、岡部町商工会との連携により健康経営の普及を進め、市内中小企業の従業員やその家族の健康づくりを支援。 ・企業向け健康経営の実践 ・「健康経営セミナー in ふじえだ」の開催 ・藤枝版健康経営ガイドブックの作成							
事業経費内訳	委託費:2,970,000円(委託先:一般社団法人 志太医師会) 印刷製本費:99,990円 謝礼:30,000円							
	項目					評価		
事業の有効性	全体の成果目標(KPI)の達成に資するために有効な事業であったか。					1:KPIの達成に非常に有効であった		
事業の効率性	事業実施にあたり、効率的かつ低コストで実施できているか。					1:効率的かつ低コストであった		
事業の総合効果	本事業は、本市が目指す地方創生(しごととひとを継続的に呼び込む)に有効であったか。					2:地方創生に相当程度効果があった		
事業の評価	人口減少、東京一極集中が続き、中小企業の人材確保が課題である中、健康経営は、「企業価値の向上」や「リクルート効果による人材確保」などのメリットがあり、健康経営の実践やセミナー開催などの取組により、市内企業の価値が高まった。 また、健康経営の実践が進み健康増進による「労働生産性の向上」が認められたため、労働市場での人手不足の解消に向け、一翼を担うことが期待できる。			事業の改善点		静岡県や藤枝商工会議所、岡部町商工会と連携し、引き続き、市内中小企業の健康経営の普及を推進する。 また、健康経営の定着化に向け、実践企業に対するフォローアップを実施していく。		
実績値を踏まえた今後の事業展開	今後の方針	事業の継続			今後の方針理由	健康経営は、健康増進や労働生産性の向上が認められ、人口減少社会の克服に有効な取組であるため、令和2年度も事業を継続していく。		

令和元年度地方創生交付金事業評価シート

事業No.

26

事業名	シニア世代が活躍する博物館回想法事業				作成責任者	
事業開始年月	平成31年4月	事業終了年月	令和2年3月	担当課	文化財課	
交付金名	地方創生推進交付金(藤枝版コンパクト+ネットワーク型CCRC 高齢者が活躍するまちづくり)			事業費	事業費(円)	460,887
					うち交付金充当額(円)	230,443
総合戦略基本方針	ひとの流れを創る健康都市	政策パッケージ	高齢者等が活躍できる社会づくり	総合戦略施策名	高齢者等の生きがいがづくり支援	
事業目的	高齢者が昔の生活資料や映像に触れて、グループで昔の思い出を語り合うことで脳を活性化させる効果がある地域回想法サロンを開催することによって、地域のシニアが生き甲斐をもって健康に暮らし、社会で活躍できる機会をつくる。					
事業概要	<p>回想法の手法を使ってグループワークで会話を楽しみ、脳を活性化させることによって、地域のシニアが楽しく生き生きと過ごせる場を提供し、生活の質の向上に資する回想法サロンを回想法ボランティアが主体となって定期的に行うため、回想法ボランティアの育成や回想法サロンの試験的開催を行った。</p> <p>○回想法研修の実施 サロンの運営に携わる回想法ボランティアを養成する研修を実施し、回想法の理論・効果・手法を学んでもらい、人材を育成した。</p> <p>*回想法入門研修 令和元年5-9月に開催(全5回) 延べ受講者数181名 *回想法グループワーク 令和元年10-12月に開催(3回) 延べ参加者数48名</p> <p>○回想法サロン「藤枝おもいでサロン」の試験的開催 令和2年1-2月に開催(4回) 延べ参加者数49名 サロンの運営方法や内容の成果と課題について実地で検証した。</p>					
事業経費内訳	<p>謝礼: 211,000円 旅費: 71,140円 消耗品費: 101,965円 印刷製本費: 52,800円 通信運搬: 23,982円</p>					
						
						
					<p>試験的な回想法サロン「藤枝おもいでサロン」 「藤枝おもいでサロン」案内リーフレット</p>	
	項目				評価	
事業の有効性	全体の成果目標(KPI)の達成に資するために有効な事業であったか。				2: KPIの達成に有効であった	
事業の効率性	事業実施にあたり、効率的かつ低コストで実施できているか。				1: 効率的かつ低コストであった	
事業の総合効果	本事業は、本市が目指す地方創生(しごととひとを継続的に呼び込む)に有効であったか。				2: 地方創生に相当程度効果があった	
事業の評価	回想法入門研修5回、回想法グループワーク3回を開催し、回想法サロンを運営するボランティア32名を養成した。その後、ボランティアが回想法リーダーとなるなつかし回想法サロン「藤枝おもいでサロン」を試験的に4回開催した。延べ278名が参加し、地域回想法への理解が深まり、回想法サロンを今後運営していく素地を作ることができた。			事業の改善点	回想法サロンの周知がまだ根付かず一般参加者が少ないため、今後、サロンの開催や意義・効果をPRし、地域のシニアの参加を募り、サロンの運営を軌道に乗せていく必要がある。	
実績値を踏まえた今後の事業展開	今後の方針	事業の継続	今後の方針理由	回想法事業は高齢者の生活の質の向上や社会での活躍機会の提供という点で有意義な取り組みであるため、令和2年度以降も取り組みを継続し、周知と定着をはかっていく。		

令和元年度地方創生交付金事業評価シート

事業No.

27

事業名	スポーツ&健康フェスタ開催事業					作成責任者		
事業開始年月	令和元年6月	事業終了年月	令和2年2月	担当課	スポーツ振興課		村越 美友紀	
交付金名	地方創生推進交付金(藤枝版コンパクト+ネットワーク型CCRC 高齢者が活躍するまちづくり)			事業費	事業費(円)	400,000	うち交付金充当額(円)	200,000
総合戦略基本方針	ひとの流れを創る健康都市	政策パッケージ	高齢者等が活躍できる社会づくり		総合戦略施策名	高齢者等の生きがいづくり支援		
事業目的	年齢や障害の有無にかかわらず、誰もがスポーツに親しむとともに、健康に対する意識を高め、生涯にわたり健康で活力ある生活を築ききっかけをつくる。					 		
事業概要	スポーツ&健康フェスタ(12/7)の開催の支援。 ・ニュースポーツ等の体験(14種目) ・障がい者スポーツの体験(4種目) ・健康チェックやリハビリ相談を行う健康コーナーの設置(11ブース) ・親子でできるヨガ体験やこどもの運動発達・姿勢の悩み相談 ・総合型地域スポーツクラブの活動紹介(プログラムに掲載 6クラブ)					 スポーツ体験コーナー①  スポーツ体験コーナー②		
事業経費内訳	補助金400,000円 (交付先:スポーツ&健康フェスタ実行委員会 補助率10/10)					 		
	項 目					評 価		
事業の有効性	全体の成果目標(KPI)の達成に資するために有効な事業であったか。					2:KPIの達成に有効であった		
事業の効率性	事業実施にあたり、効率的かつ低コストで実施できているか。					1:効率的かつ低コストであった		
事業の総合効果	本事業は、本市が目指す地方創生(しごととひとを継続的に呼び込む)に有効であったか。					3:地方創生に効果があった		
事業の評価	企業や団体と連携し、「スポーツ」と「健康」を関連させたイベントを開催したことで、健康への意識がより一層高まり、年齢に関わらず無理なく取り組めるニュースポーツの普及につながった。 また、Bivi藤枝内や駅南でのイベントと同日に開催し、JRさわやかウォーキングのコースにも組み込んだことにより、イベントの周知や中心市街地の賑わい創出に貢献した。			事業の改善点		引き続き、運動・スポーツを継続して実施するきっかけとなるよう、参加しやすい種目を検討していく必要がある。		
実績値を踏まえた今後の事業展開	今後の方針	事業の継続			今後の方針理由	事業を継続し、スポーツを通じた健康的な生活習慣を定着させるため。		

令和元年度地方創生交付金事業評価シート

事業No.

28

事業名	街なか多世代交流推進事業					作成責任者		
事業開始年月	平成31年4月	事業終了年月	令和2年3月	担当課	中心市街地活性化推進課		茂木 啓輔	
交付金名	地方創生推進交付金(藤枝版コンパクト+ネットワーク型CCRC 高齢者が活躍するまちづくり)			事業費	事業費(円)	182,724	うち交付金充当額(円)	91,362
総合戦略基本方針	ひとの流れを創る健康都市	政策パッケージ	移住・定住の促進		総合戦略施策名	藤枝ならではの移住・定住の促進		
事業目的	CCRCモデル実証地区において、講座、各種イベント等を開催し、高齢世代や子育て世代など幅広い世代の交流機会を創出することで、高齢者一人ひとりの生きがいや自己実現のための取組を支援するとともに、中心市街地の更なる活性化を目指す。					 		
事業概要	高齢者を対象にしたイベントの開催。 ・講義形式の座学やレクリエーション ・グループで身体と脳を同時に鍛えるストレッチ等					 		
事業経費内訳	委託費:182,724円 (委託先:NSライフ株)							
	項 目					評価		
事業の有効性	全体の成果目標(KPI)の達成に資するために有効な事業であったか。					1:KPIの達成に非常に有効であった		
事業の効率性	事業実施にあたり、効率的かつ低コストで実施できているか。					1:効率的かつ低コストであった		
事業の総合効果	本事業は、本市が目指す地方創生(しごととひとを継続的に呼び込む)に有効であったか。					2:地方創生に相当程度効果があった		
事業の評価	話を聞く講座だけではなく、三味線グループによる演奏会や実際に身体を使ったストレッチなど普段はあまり体験できないイベント内容であり、参加者アンケートも好評で、次回も参加したいという声が多く聞かれた。また、毎回定員を上回る申し込みがあったほか、地元のこども園や保育園の協力で園児にも参加してもらったことで、幅広い世代の交流機会を創出することができた。 開催回数:3回			事業の改善点		さらに幅広い世代と交流できるように、小学生から大学生、子育て世代が気軽に参画できるようなイベントを企画していく。		
実績値を踏まえた今後の事業展開	今後の方針	事業の継続		今後の方針理由	幅広い世代の交流機会や中心市街地の賑わい創出に一定の成果を上げているため。			

令和元年度地方創生交付金事業評価シート

事業No.

29

事業名	地域で活躍する人材育成事業					作成責任者		
事業開始年月	平成31年4月	事業終了年月	令和2年3月	担当課	生涯学習課		渋谷 香里	
交付金名	地方創生推進交付金(藤枝版コンパクト+ネットワーク型CCRC 高齢者が活躍するまちづくり)			事業費	事業費(円)	487,964	うち交付金充当額(円)	243,982
総合戦略基本方針	ひとの流れを創る健康都市	政策パッケージ	高齢者等が活躍できる社会づくり		総合戦略施策名	高齢者等の生きがいづくり支援		
事業目的	地域の住民の知識や技能を活かし、社会教育を推進する指導者を養成し、指導者の活躍を推進する。社会教育関係、青少年指導者の養成研修や、生涯学習の核となる生涯学習インストラクターの組織をつくり、活動を促進する。					 「ほめる達人」講演  「絵本セラピー」研修会		
事業概要	・人材活用事業 市民の学習意欲の応えるため、豊かな経験、知識及び技術をもつ人材バンクを整備し、登録された講師を活用した自主グループの学習会の講師料の一部を補助した(人材バンク登録者256名、活用事業5件) ・人づくり藤枝塾市民講演会 地域で活躍できるような人材を育成し、人づくりに資するための講演会を開催した(3回参加者427名) ・人材育成研修会 地域の住民の知識や技能を活かし、社会教育を推進する指導者を養成するための研修会を開催した(5回 参加者358名)					 「樹木医」講演会  「アスリートフードマイスター」研修会		
事業経費内訳	講師謝礼 370,000円 ポスター印刷製本費 32,340円 消耗品費 71,000円 手数料 14,624円							
	項 目					評価		
事業の有効性	全体の成果目標(KPI)の達成に資するために有効な事業であったか。					2: KPIの達成に有効であった		
事業の効率性	事業実施にあたり、効率的かつ低コストで実施できているか。					1: 効率的かつ低コストであった		
事業の総合効果	本事業は、本市が目指す地方創生(しごととひとを継続的に呼び込む)に有効であったか。					3: 地方創生に効果があった		
事業の評価	人材活用事業では、人材バンクに6人の新規登録があったが、活用回数は5回で、目標20回を下回り、登録講師の活躍の機会として不十分な結果となった。 人づくり藤枝塾市民講演会は、3回実施し、定員総数480名のうち427名の参加(89%)、人材育成研修会は、5回を実施し、定員総数550名のうち358名の参加(65%)があったことから、市民のニーズに答えた学習機会を提供できた。 アンケート結果では、前向きな回答が多く、生涯学習活動のモチベーションを向上させた。			事業の改善点		引き続き、市民講演会・人材育成研修会を開催する。 人材活用事業については、人材バンクの登録者を増やし、事業のPRを推進して利用者を増加を図る。		
実績値を踏まえた今後の事業展開	今後の方針	事業の継続			今後の方針理由	事業を継続し、生涯学習の核となる指導者を育成し、生涯学習の推進を図る。		